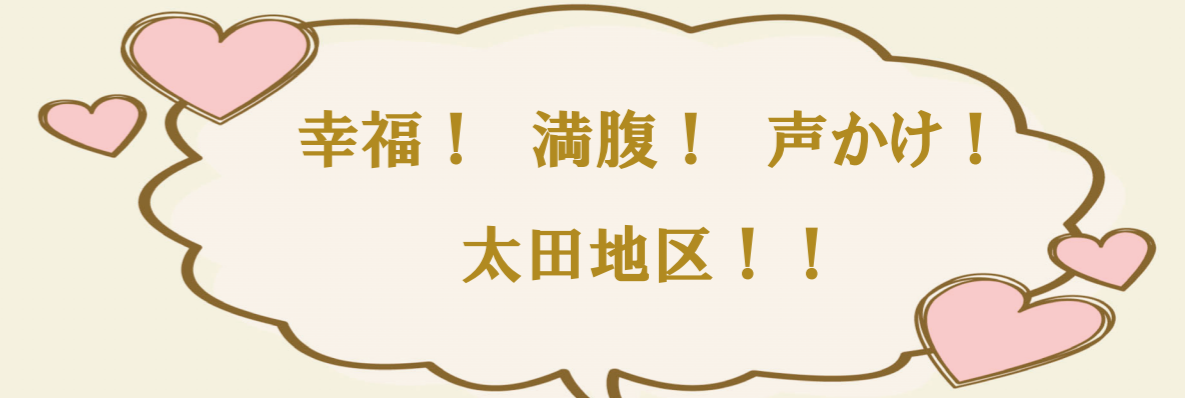


# 太田地区社会福祉協議会広報紙

# あったか 通信

「あったか通信」は赤い羽根共同募金の助成金を利用しています



太田地区スローガン

- ◎ 太田地区社会福祉協議会役員紹介
- ◎ 震災時の避難の考え方まとめ
- ◎ 災害時の緊急給水場所について
- ◎ 給水場所から飲料水を運ぶときの注意
- ◎ 広域避難場所・地域防災拠点について
- ◎ 災害時救急病院について
- ◎ 太田地区社協の活動、取り組みの様子（抜粋）を写真でお知らせしています

## 太田地区社会福祉協議会 役員紹介

会長 坂口勇美子	副会長 根岸光司
事務局長 田平義治	会計 菊池恭子
	相談役 岩田力

広報委員 代表・田平義治、坂口勇美子、上村久仁子、菊池恭子、池邊三智子、須川真由美、社本 紀  
問合せ先 田平義治 090-8515-7220

## 第2回 太田地区連合祭り



10月19日の日曜日、第2回太田地区連合祭りが開催されました。直前まで心配された天候も、当日は太田地区に味方してくれました。今年度は、太田地区の方々に、春先から実行委員を募集することからスタートしました。実行委員会に新メンバーが10名加わり、内容豊富にパワーアップした連合祭りとなりました。



5月、キリンプラスアンサンブルの音楽会です。前夜からの雨のため外では出来ませんでした。室内での管楽器の演奏は迫力満点です。50人を超える参加者で楽しみました



5月、いこいサロンによる、連合会館での二胡の演奏会です。40名を超える参加者で楽しみました



6月、ちとせ会では、食事後のカンガルークラブの佐藤さんによる健康体操、南センター共催の一刻堂さんの「南京玉簾とガマの油売り」の口上演芸があり、一般見学者も加わり大盛況



7月、保健活動推進員、赤ちゃん学級のお手伝いをしています。秋には、赤ちゃんのパパママを対象に健康測定会を行います



9月、社協の夏に行われる活動発表研修会が実施されました。台風15号の風雨の後でしたが、28名の参加をいただきました



10月、清水ヶ丘地域ケアプラザによる「ヒルトップフェスタ」が行われました。大雨の予想を運良く裏切り、大変盛り上がりしました



10月、ブービーくらぶの風景です。毎月第1金曜に開催されます。ママもパパもお子さん連れて来てくださいね。おもちゃもたくさん用意してお待ちしています



10月、「赤い羽根共同募金」で南太田駅とフジスーパーの前で募金活動を行いました。高澤南区長と吉井区連長も駆けつけてくださいました。お揃いの法被を初披露できました



11月、ミニバスケットが行われました。ほとんどの子が初体験。パス、ドリブル練習からゲームまで元気いっぱい楽しみました



12月、連合会館でのハッピーストレッヂが行われました。参加者は15名になりました



2月、みんなの健康づくりが行われ、フロアホッケーに大人、子ども合わせ24名出席しました。朝から雪が舞うような日でしたがみんな元気いっぱい

太田地区社会福祉協議会  
令和7年度の活動の様子を  
写真で紹介しています

ホームページをご覧ください



## 横浜市南区福祉功労者授賞式



11月 横浜市南区福祉功労者授賞式がありました。左側が団体の部ちとせ会代表の小堀さん 右側が個人の部いこいサロンの田窪さん

# ● ● ● 震災時の避難の考え方 ● ● ●

**地震による火災が  
延焼・拡大した場合**

## 広域避難場所

熱や煙から生命・身体を守るために一時的に避難する場所です。  
(大きなグラウンドなど)

※避難生活を送る場所ではありません。

清水ヶ丘公園一帯  
横浜商業高校一帯



※自宅に危険がないときは、  
あえて避難の必要はありません



## いっとき避難場所

自治会・町内会などで独自に定めた一時的に避難する場所です。  
(近くの公園、広場、駐車場など)

太田地区には9ヶ所  
いっとき避難場所があります

## 地域防災拠点

避難生活を送る場所です。  
地域住民の方へ、物資・情報  
などを提供する場でもあります。  
(指定された市立の小・中学校)

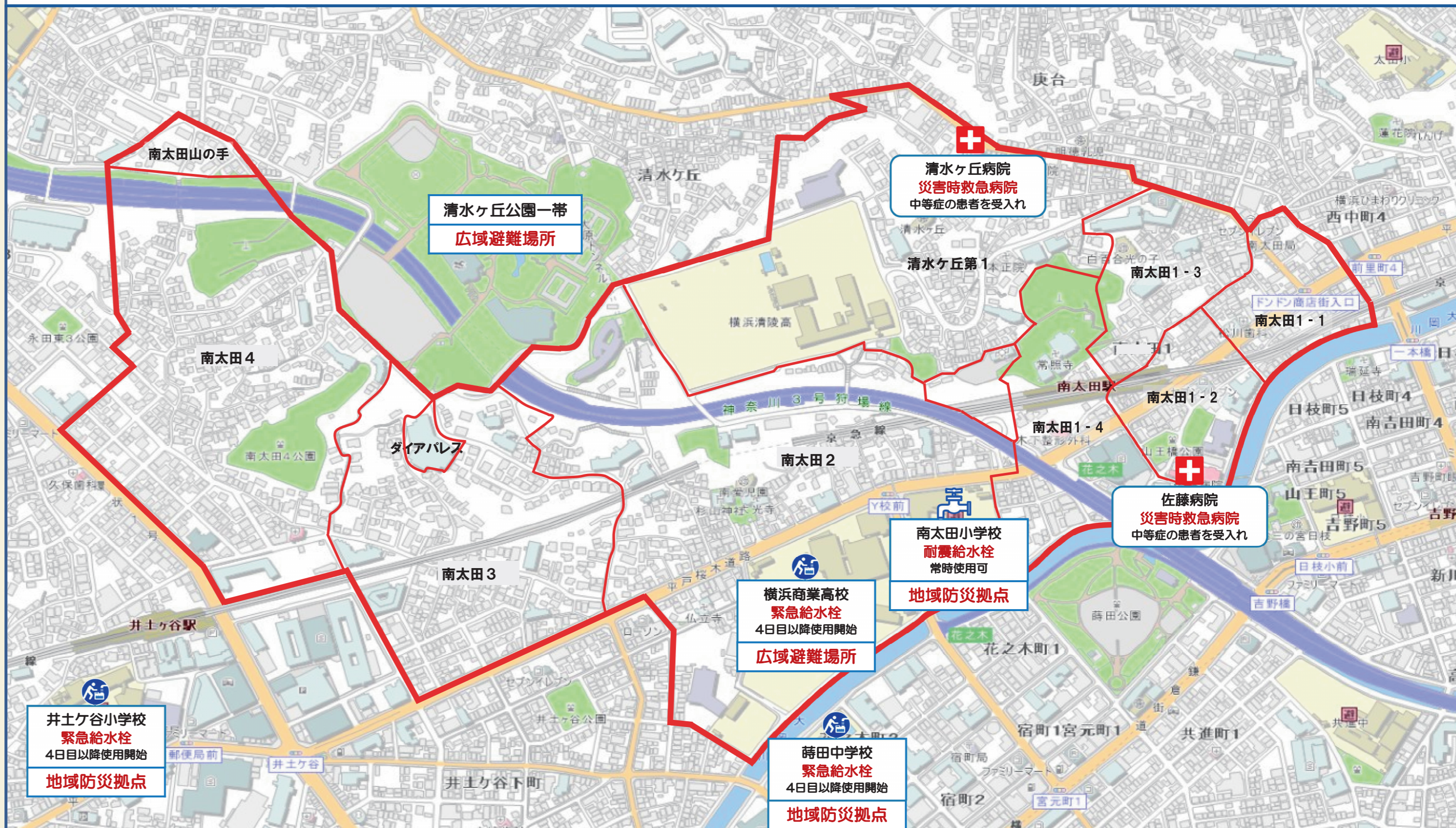
南太田小学校	南太田1丁目町内会 南太田2丁目町内会 清水ヶ丘第一町内会
蒔田中学校	南太田3丁目町内会 ダイヤパレス清水ヶ丘自治会
井土ヶ谷小学校	南太田4丁目町内会 南太田山の手自治会

## 防災拠点からの飲料水持ち帰り・家庭での飲料水備蓄について

給水所には水を持ち帰るための容器はありません。水を入れるポリ容器と台車など、持ち帰る道具もご準備ください。

災害発生時には応急給水活動に遅れが生じる場合もありますので、飲料水を1人1日3リットル、3日分9リットルの備蓄をお願いします。

震災時は ① 備蓄の食料や飲料水を活用して自宅で安全確保 ② 自宅が危険なときは避難場所へ ③ 自宅以外で避難生活を送る場合は地域防災拠点へ



**緊急給水栓**【横浜商業高校・蒔田中学校・井土ヶ谷小学校】  
緊急給水栓は、災害時、地震に強い管に臨時の給水装置を取り付けて給水する施設です。  
発災後おおむね4日以降に、水道局職員が断水状況を踏まえ、仮設の蛇口を取り付けます。  
給水準備の整った緊急給水栓は、災害時給水所のマークがついた「のぼり旗」でお知らせします。

**耐震給水栓**【南太田小学校】  
耐震給水栓は、配水管から屋外水飲み場までを耐震化した施設で、地域防災拠点を対象に設置しています。  
発災後、特別な作業をすることなく、普段と同様に耐震給水栓から飲料水を確保できます。  
耐震給水栓がある場所には、「看板」が設置されています。

**災害時救急病院** 【佐藤病院・清水ヶ丘病院】  
災害時に中等症（生命の危険はないが、入院を要する）負傷者等を受入れが可能な病院です。  
市が病院ごとの受入可否等の情報をとりまとめ、避難所等へお知らせします。診療が可能な場合は「診療中」を表す黄色い「のぼり旗」を掲げます。